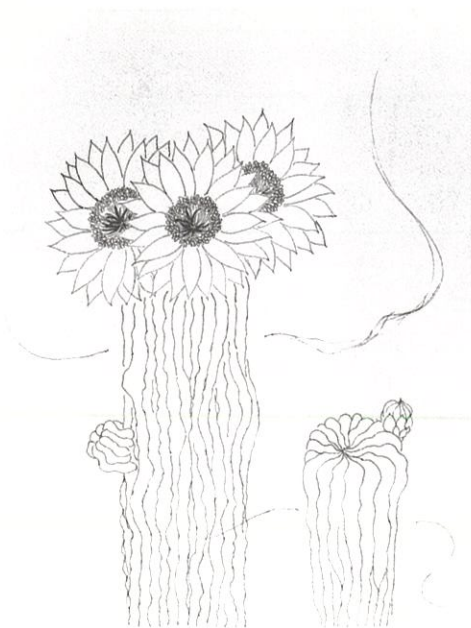




令和6年5月28日(火) ～ 7月15日(月・祝)

素描の魅力 ～ 創作の裏側に迫る



 鹿児島市立美術館
KAGOSHIMA CITY MUSEUM OF ART




70th
ANNIVERSARY

鹿児島市立美術館
開館70周年

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 TEL099-224-3400
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>

開館時間 9:30 ～ 18:00 (入館は17:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料 一般300円 高大生200円 小中生150円

・所蔵品展もご覧いただけます。また、2回分の観覧料で年間パスポートをご購入いただけます。

・毎月第3日曜日は小中学生の常設展(所蔵品展・小企画展)観覧料が無料です。

掲載作品

- ① エミール＝アントワーヌ・ブールデル《サッフォー》1900年、水彩・紙
- ② ポール・シニャック《風景》制作年不詳、鉛筆、水彩・紙、寄託(陽山美術館蔵)
- ③ 藤島武二《蒙古高原の日の出》1937年、パステル・紙
- ④ 和田英作《野遊(下絵)》(部分)1925年、木炭・紙
- ⑤ 帖佐美行《下絵79(熱砂の話<A>一部)》制作年不詳、ペン、鉛筆・和紙



素描の魅力と創作の裏側に迫る

令和6年5月28日(火) ～ 7月15日(月・祝)

「素描」は、フランス語ではデッサン、英語ではドローイングまたはスケッチと呼ばれる線描を主とした表現です。旅先でのスケッチ、モチーフの研究やふとしたアイデアを描きとめた紙片、完成作品のイメージをまとめた習作や下絵など、多くは人に見せることを目的に描かれたものではありませんが、作品化される前の臨場感溢れる表現は独自の魅力を放ち、美的価値を兼ね備えたものも数多くあります。

明治後期に東京美術学校に在籍し、西洋画の基礎を学んだ時任鵬熊らの人体デッサン。モチーフとなる対象を繰り返し描き研究成果を創作に結び付けた日本画家・満田天民や洋画家・海老原喜之助、版画家・橋口五葉の素描。旅先の風景に取材し油彩画の大作を生み出した藤島武二や梅原龍三郎の風景スケッチ。和田英作の《野遊》(東京藝術大学蔵)や藤田嗣治の《争闘I》(エソンヌ県議会蔵)の下絵、彫刻家・ブールデルやマイヨールの思索の跡をうかがわせる素描、彫金家・帖佐美行のモダンな造形感覚溢れる図案下絵…。

本展では、所蔵品の中から様々なジャンルの作家が描いた素描を、ときに完成作品も交えながら一堂に展示いたします。彼らの創作の裏側を覗き見るような、ワクワクした気持ちで鑑賞いただけましたら幸いです。

●ギャラリートーク(学芸員による作品解説)

日時/6月1日、15日、29日 土曜日 14～15時

●同時開催の展覧会

初夏の所蔵品展 ミニ特集 生誕120年 海老原喜之助と吉井淳二
会期/令和6年5月8日(水) ～ 7月7日(日) ※所蔵品展と共通料金



①

掲載作品

- ① 橋口五葉《横すわりの女》制作年不詳、鉛筆・紙
- ② 満田天民《闘鶏》制作年不詳、淡彩・紙
- ③ 海老原喜之助《さまざまなポーズII》制作年不詳、ペン、黒インク、墨・紙
- ④ 海老原喜之助《騎手・魚・人物》制作年不詳、ペン、黒インク・紙



②



③



④

七月十六日感嘆

アクセス案内

- ・カゴシマシティビューバス「西郷銅像前」下車徒歩1分
- ・市電「朝日通」/バス「金生町」下車徒歩5分
- ・JR 鹿児島中央駅より車で10分

駐車場案内

※駐車可能台数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 美術館駐車場 6台 (美術館正面向かって右側の道路沿い)
- 共用駐車場 (メルヘン館、9:30～18:00、バスは要予約)
普通車 31台、大型バス 3台 (マイクロバス 7台)
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
- 周辺駐車場
・鹿児島市役所みなと大通り別館駐車場 (無料、平日 8:30～19:00、土日祝 9:00～18:00)
※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
・美術館周辺コインパーキング (有料)
・セラ602駐車場 (有料)
・近隣施設駐車場 (無料)
黎明館、かごしま近代文学館・メルヘン館
※美術館駐車場が満車の場合に限りです。長時間の駐車はお控えください。
各施設の都合によりご利用いただけない場合があります。



〒892-0853 鹿児島市城山町 4-36 TEL099-224-3400
https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/